

ごあいさつ

第61回九州地区病弱虚弱教育研究連盟
理事長 近藤清孝
(佐賀県立中原特別支援学校長)

令和3年度第61回九州地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会佐賀大会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

本来、九州地区の病弱特別支援学校、小・中学校、高等学校や病院・福祉施設等の職員など多くの皆様一堂に会した形で大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの開催とさせていただきました。

開催に当たりましては、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草瑞世様、佐賀県教育委員会教育長 落合裕二 様には、ご祝辞を賜り誠にありがとうございます。

さて、本研究協議会は、病弱虚弱児の療育及び教育の当面する課題について、日頃の実践活動や今後の方向性について関係者が協議を深めることにより、病弱虚弱教育の充実と発展を図ることを目的とし、九州各県持ち回りで年1回開催しています。大会テーマは、昨年度から「病弱虚弱教育の今後の在り方を求めて ～新学習指導要領を踏まえて～」と設定されています。新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」「育成を目指す資質・能力の明確化」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」「カリキュラム・マネジメントの確立」などが求められていることに加え、特別支援教育に関しては、「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」「子供の障害の重度・重複化、多様化」「社会の急速な変化と卒業後を見据えた教育課程の在り方」などに対応することが求められています。

病弱・身体虚弱教育に関しては、近年複数の障害種に対応した特別支援学校の設置や、在籍児童生徒の特性等が各学校で大きく異なるなどの状況が見られます。このような中、病弱虚弱教育の専門性の維持・向上に本研究協議会が果たす役割は大きいものがあると考えます。

本日は、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草瑞世 様、独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 療育指導科長 會田千重 様から講演をいただきます。引き続き、「教科・領域の指導」「自立活動の指導」「発表校による設定」の3分科会で6校から新学習指導要領を踏まえた提言をいただきます。各分科会では、専門の教育関係者の皆様に助言をいただくこととしています。1日間の日程ではありますが、ご参会の皆様にとって実り多いものになることを願ってやみません。

最後になりましたが、オンライン開催ということで、日程の縮小や配信のための動画の作成など、これまで関係の皆様には多大なるご理解・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。佐賀大会での成果が、今後皆様の日々の実践に生かされ、病弱・身体虚弱教育が更に発展することを祈念し、ごあいさついたします。